

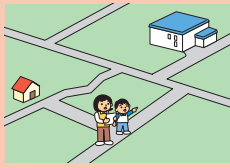
避難場所はどこにあるの？

左のページを参考にしながら、お近くの避難場所を確認しましょう。

＜避難場所確認の際の注意点＞

○安全な避難路を事前に確認しましょう。

避難場所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



○水害の際の避難路について

水害の際は、避難路には高い道路を選び、側溝や水路に転落しないよう注意しましょう。また河川沿いの道路や橋は危険ですので避けてください。山沿いの道路を通らなければならない場合には、土砂災害に注意しましょう。



昭和40年（1965年）台風24号による大雨で冠水した旧国道5号（二十四軒1-7付近） 提供：札幌市写真ライブラリー

近年、異常気象による風水害や大規模な地震が数多く発生しています。今月号では、区内の避難場所をお知らせします。いざというとき、慌てないために、日ごろからお近くの避難場所と道順を確認しておきましょう。

避難のとき気を付けることは？

災害時の避難は身を守る意味で最も重要なことですから、安全な場所に「早めに避難」することが大切です。

日ごろから「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えを持ち、災害に遭っても常に落ち着いて行動できるように考えておきましょう。



○ラジオ・テレビなどの災害情報をよく聞き、慌てずに落ち着いて行動しましょう。

○避難の勧告があった場合は、速やかにその指示に従いましょう。

○必ず徒歩で避難し、自動車は使わないようにしましょう。

○隣近所の人と声を掛け合い、複数で避難しましょう。

防災についてもっと知りたい。

地震・風水害の対策をまとめた「家庭防災のしおり」、洪水の危険性の高い地域を示した「洪水ハザードマップ(西区・手稲区版)」を区役所、各まちづくりセンターで配布しています。



避難場所とは？

大規模な災害発生時に避難生活が可能で「収容避難場所」が、西区では52カ所指定されています（3ページ参照）。

災害が発生した際には、食料、生活必需品などの提供、仮設トイレの設置など、生活環境を早急に整備します。

このほかに地域の公園など身の安全を確保する「一時避難場所」、大規模な火災が発生したとき、炎や煙から身を守り、安全を確保する「広域避難場所」があります。



収容、一時避難場所



広域避難場所

＜西区とその周辺の広域避難場所＞

施設名	所在地
農 試 公 園	西区八軒4条西6丁目
鉄 興 公 園	西区発寒11～13条11丁目
琴似工業高校	西区発寒13条11丁目
宮 丘 公 園	西区西野290番地
札幌競馬場	中央区北16条西16丁目
円 山 公 園	中央区宮ヶ丘ほか